

多摩区内小学校



第3回 宿河原小学校

第3回目は、昭和49年4月に開校した宿河原小学校（平成29年度児童数774名）を訪問しました。

岩田昭彦校長先生に学校の基本構想を伺いますと、人間性豊かなバランスの取れた子を育成し、また、今年度の重点目標として、子どもたちの心の面を大切に、穏やかな伸び伸びとしたゆとりある、寄り添う教育を担当の先生が中心となって充実させていくとのことでした。

学校行事として、地域の多くの方々（PTA、OB、民生委員など）の協力のもと、教育の一環として平成元年から30年間続いてきた「どんど焼き」が、諸事情により今年で最後の開催となりました。今後はこれまでの記録を映像化し語り継ぐとともに、教材としても活用されるそうです。他にも、管楽器クラブ（4年生以上39名で構成）は、



春になるとサクラが見事に咲きます

代々練習熱心で毎年「子どもの音楽の祭典」や「桜まつり」など各方面のイベントに参加しています。また、サミットと題して、計画委員が中心となり、自主的に議題を出して、独自の歌を作ったり、挨拶運動を行ったり、今年度は2020年東京オリンピックのキャラクター選考にも参加しました。

校内の樹木などは大小にかかわらず、地域のみなさんから寄贈されたもので、一本一本とても大切にされています。地域とのつながりがとても強く、自然豊かな恵まれた学校です。



伝統のどんど焼きをぐるり囲って



多摩区まちづくり協議会は、区民の自主的なまちづくり活動組織です。区民が取り組む地域活動を、年4回発行でお知らせしています。

私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS

2018年
（平成30年）3月

59号



多摩の風景

ばら苑の全景

パーゴラ

パレリーナ

イングリッド・バーグマン

プリンセス・マーガレット

箱根山椒バラ

天津乙女

ばら苑コンサート

ばら苑コンサート

「生田緑地ばら苑」は60周年を迎えます

【記事・写真：ばら苑 大川弘苑長】

1958年、小田急向ヶ丘遊園地内に開苑した「ばら苑」は、2002年からは川崎市が継承して、今年60周年を迎えます。世界各国のバラに加え、日本のバラもたくさん植えられています。今年も、春は5月の連休後に一般公開して、皆さんにバラを楽しんでいただけます。

「生田緑地ばら苑」の特徴は、

- 1) バラの殿堂入りをしたモダンローズ（16種）オールドローズ（11種）が、全て植えられています。
- 2) ロイヤルコーナーには、クイーン・エリザベス、プリンセス・ミチコ、プリンセス・ドゥ・モナコなどの皇室、王室関係のバラが集められています。
- 3) バラの香りを、お楽しみいただけるように、8種類の香りのシールで、分類表記しています。
- 4) ガイドツアー（予約なし / 無料 / 約60分）では、殿堂入りのバラや香りのバラ、イングリッシュローズコーナーについても、ご案内しています。

現在は、川崎市公園緑地協会が、ボランティアの協力を得て運営して、春と秋の年2回、一般公開を行っています。お身体のご不自由な方は、専用駐車場、苑内巡回バスをご利用いただけます。

詳細は：<http://www.ikuta-rose.jp/>



活動 生田緑地ばら苑ボランティア

バラの育成管理には、現在約150人のボランティアが参加。専門家の指導のもと、大勢の仲間とともに交流を通じて、バラに囲まれる喜びを楽しんでいます。新たに参加希望の方は、

◆川崎市建設緑政局みどりの企画管理課
電話 044-200-2394 まで

たま今昔

区制が敷かれてから40年以上を経た多摩区の昔の姿を探ります

その20 府中街道稲生跨線橋



ほぼ同じ場所で
昭和40年頃 ※稲田郷土史会提供
平成30年1月

府中街道が向ヶ丘遊園駅のすぐ横で小田急線の上を越える陸橋です。完成したのは1969（昭和44）年3月ですが、昔の写真は昭和40年頃のもので当時は踏切でした。箱根湯本・片瀬江の島行急行が新宿を出ると下北沢に停まるだけで、その次が向ヶ丘遊園、駅前には遊園地に行く人々で賑わっていた頃です。そしてこの頃からモータリゼーションの波が起き、このような踏切待ちの渋滞が日常化してきました。これを解消するための立体化工事がまさに始まったところです。通過しているのは1957（昭和32）年から1992（平成4）年まで走っていた初代のロマンスカーSE車です。車列の向こうに見える生田緑地の丘も、今はマンションなどが建ち見ることができません。 [文：見井]

多摩区まちづくり協議会へのご意見、ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係
電話 935-3148 FAX 935-3391
メール 71tisin@city.kawasaki.jp



編集後記

今年1月、日本列島は寒波にみまわれ、多摩区内も大雪で足元の悪い日が続きましたが、今期最終号の頃は、暖かい春が訪れ種々の花が咲き、心が豊かになりそうです。どうぞ、まちづくり冊子情報で生涯学習の道しるべの1ページとしてお役に立ていただければ幸いです。（小澤）

■まち協のホームページ <http://tamaku-machikyo.com/>